

# 人文論叢

## 三重大学人文学部文化学科研究紀要

### 第 12 号

#### 目 次

##### 論説

- 『人類の薄明』——あるアンソロジーの歴史——……………宇京 早苗( 1～ 16)
- レッシングとメンデルスゾーン、ニコライとの悲劇に関する往復書簡について
- レッシングの悲劇論の発展を跡付けるために——(その四)太田 伸広( 17～ 35)
- 〈主体〉の構造と類型(1)……………村上 直樹( 37～ 53)
- 1883年のエドゥワール・マネ——追悼記事の精査にもとづいた✓
- 批判的総括余滴——(仏文)……………稲賀 繁美( 55～ 88)
- ショート・ショート七篇(英文)……………スコット・R・リッター( 89～100)
- 従晩清的“小説界革命”到五四的“文学革命”
- 中国近代小説観念の形成和演变(中国文)——……………李 慶國(101～116)
- 現代日本語の連体修飾節における動詞の形について
- ル形・タ形とテイル形・テイタ形——……………中畠 孝幸( 三 ～ 三)
- 盧照鄰の陶淵明像について……………道坂 昭廣( 五 ～ 三)
- 中国女性文学の系譜
- 班婕妤論：「怨歌行」及び「自悼の賦」をめぐって——西村富美子( 一 ～ 四)

##### 研究ノート

- 日本のファミコン論争(スペイン文)……………加藤 隆浩(117～123)
- ドイツ語文化圏におけるチェコ文学の受容について……………大河内朋子(125～134)

三 重 大 学 人 文 学 部

1 9 9 5